

## 中国地方知事会 広域連携部会一覧

| No | 部 会 名         | 担当県 |
|----|---------------|-----|
| 1  | 広域防災部会        | 鳥取県 |
| 2  | スギ・ヒノキ花粉症対策部会 | 岡山県 |
| 3  | 有害鳥獣対策部会      | 鳥取県 |
| 4  | 中山間地域振興部会     | 島根県 |
| 5  | サイクリング部会      | 広島県 |
| 6  | 地域産業振興部会      | 山口県 |
| 7  | 広域デジタル部会      | 山口県 |

# 広域防災部会

| 連携テーマ   | 令和8年度の取組(予定)   |
|---|--|
| <p>大規模広域的災害発生時の連携と調整等WG<br/>(岡山県・広島県・山口県・鳥取県)</p> | <ul style="list-style-type: none"><li>・大規模地震対策の充実・強化(南海トラフ地震、首都直下地震)</li><li>・「首都直下地震における応急対策職員派遣制度アクションプラン」、中国5県共同防災訓練の評価・意見等を踏まえた支援・受援マニュアル等の見直し</li><li>・「ぼうさいこくたい2026 in 鳥取」への出展</li><li>・(一財)中国ゴルフ連盟と中国各県との「災害時における被災者へのゴルフ場の支援協力に関する協定」の締結</li><li>・林野火災発生時の早期の情報共有並びに速やかな広域応援要請及び支援体制整備〔継続〕</li><li>・災害関連情報を共有するスキームの検討〔継続〕</li><li>・広域的な物資支援の実効性を高める取組の検討〔継続〕</li><li>・広域避難体制の検討〔継続〕</li><li>・関西広域連合との情報交換〔継続〕</li></ul> |
| <p>防災訓練・人材育成WG<br/>(鳥取県・広島県)</p>                  | <ul style="list-style-type: none"><li>・中国5県共同防災訓練(オンライン)の実施〔継続〕</li><li>・各県訓練・研修の相互参観・参加〔継続〕</li></ul>   |
| <p>原子力災害を想定した連携と調整等WG<br/>(島根県)</p>               | <ul style="list-style-type: none"><li>・島根原発の状況、原子力防災に関する取組状況及び島根地域原子力防災協議会に関する情報の提供〔継続〕</li><li>・情報共有体制の確保〔継続〕</li></ul>   |

# 広域防災部会

## ■5/17に発生した広島県福山市の林野火災の対応経緯

### 【中国5県の広域応援の状況】

- 「中国五県消防防災ヘリコプター相互応援協定」に基づき、岡山県消防防災ヘリが応援。広島市消防ヘリ等と3機で空中消火・上空偵察を実施。
- 林野火災対応の申し合わせに基づき、発災初日から、会長県が広島県と連携し、被害、対応状況等を情報収集。情報は5県に共有し、応援要請があった場合に即時に応援できる体制を確保。
- 広島県・鳥取県・山口県の3県で共同運用している「総合防災情報システム」を活用し、火災発生位置等を共有。

### 【林野火災の状況】

#### 1 被害

- ・消防覚知 5/17(日) 14:26頃  
※林野火災注意報発令中
- ・鎮圧 5/18(月) 15:40、鎮火 5/19(火) 15:40
- ・出火場所 広島県福山市赤坂町の山林
- ・延焼面積 約15ha
- ・出火原因 調査中
- ・人的被害・建物被害 なし

#### 2 消防機関の活動状況

##### (1)地上部隊

- ・福山地区消防組合消防局
- ・福山市消防団

##### (2)航空部隊

- ・消防防災ヘリ 3機  
(岡山県、広島市、愛媛県)

### 【防災情報システムの広域的な活用状況】

- GISで焼損範囲や、取水池の位置等を共有。



# 広域防災部会

## ■大規模地震対策の充実・強化(南海トラフ地震、首都直下地震)

|         |  |
|---------|--|
| 趣旨・経緯   | <p>今後高い確率で発生が予想されている<u>南海トラフ地震及び首都直下地震</u>について、<u>令和7年以降、国では被害想定の見直し、応急対策職員派遣制度アクションプランの策定等の対策が進められている</u>。特に、<u>首都直下地震アクションプラン</u>では、<u>中国地方全県(市町村含む)が、発災後速やかに被災地に職員を派遣する県として指定され、広域応援体制の整備が求められている</u>。</p> <p>中国地方知事会では、既に南海トラフ地震を想定した共同訓練や、南海トラフ地震アクションプランへの対応等を実施しているところだが、<u>大規模地震対策の充実・強化が必要であり、令和8年度は主に以下の事項に連携して取り組む</u>。</p> |
| R8の取組内容 | <p>○応援体制整備に係る情報共有・共同検討(進出経路、応援隊編成、資機材整備、受援県の情報等)</p> <p>○中国5県災害時広域支援協定に基づく各種マニュアル改正 等</p>  |

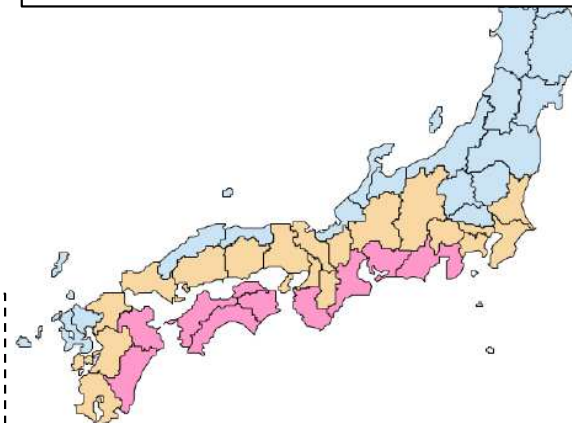
### (参考) 南海トラフアクションプランの割当

- ・水色: 即時応援県
- ・赤色: 重点受援県
- ・オレンジ: 被害確認後応援県

### (参考) 職員派遣アクションプランの応援編成計画

| 地震      | 受援県 | 即時応援県               |
|---------|-----|---------------------|
| 首都直下地震  | 埼玉県 | 鳥取県、島根県、山口県等、全11府県市 |
|         | 東京都 | 岡山県、広島県等、全20県市      |
| 南海トラフ地震 | 徳島県 | 鳥取県、新潟市             |
|         | 高知県 | 島根県、秋田県             |

←岡山県、広島県、山口県等の右図のオレンジ色の都府県は、自県被害を確認後、応援可能な場合に他県を応援するため、事前編成計画はない



# 広域防災部会

## ■「ぼうさいこくたい2026 in 鳥取」への出展

|       |  |
|-------|--|
| 趣旨・経緯 | 「ぼうさいこくたい」は、全国の産学官民の防災関係者が集い、防災活動の発表や交流などを行う国内最大級の防災イベントである。令和8年は、鳥取県中部地震から10年を迎える鳥取県で開催される。<br>中国地方知事会としても、この機を捉え、 <u>活動を全国にPRする。</u> |
| 取組内容  | ○今後WGで、 <u>展示方法、展示内容を調整し、平成7年の中国5県災害時相互応援協定締結以降、培ってきた広域支援に係る活動等をPRする。</u>  |



### (参考)「ぼうさいこくたい2026 in 鳥取」概要

|          |   |
|----------|---|
| 会期       | 10/17(土)、18(日)                                  |
| 会場       | 鳥取県倉吉市(エースパック未来中心、鳥取県立美術館 等)                    |
| テーマ      | 共に考え・備え・守る<br>～「支え愛」で守る命と暮らし～                   |
| 来場者数     | 延べ約10万人<br>(想定、併催イベント含む)                        |
| 主な併催イベント | 防災産業展示エリア、防災訓練・体験エリア、食パラダイス鳥取県エリア、防災(災害遺構)ツアー 等 |

### (参考) R7年新潟大会の様子



パネル展示



NPO等の交流セッション

# スギ・ヒノキ花粉症対策部会

## ■連携テーマ

- ① 中国地方連絡会議の開催
- ② 苗木等の相互融通と植替えの促進
- ③ 特定母樹の少花粉品種に関する調査研究の加速化
- ④ 普及啓発活動



## ■テーマ毎の進捗状況

| 連携テーマ                          | 目標   | 令和7(2025)年度実績(見込)   | 令和8(2026)年度計画  |
|--------------------------------|--|---|--|
| ① スギ・ヒノキ花粉症対策推進<br>中国地方連絡会議の開催 | ・連絡会議の開催(年1~2回)  | ・2回開催<br>・少花粉苗木等生産技術の向上について情報交換及び課題の共有  | ・2回開催<br>・少花粉苗木等生産技術の向上について情報交換及び課題の共有   |
| ② 少花粉スギ・ヒノキ苗木等の相互融通と植替えの促進     | ・中国5県トータルで植替えに使用する少花粉スギ苗木の割合<br>令和10(2028)年度に50%<br>(少花粉スギ苗木580,000本<br>/スギ全体1,161,000本) | ・植替えに使用する<br>少花粉スギ苗木の割合 62%<br>(少花粉スギ苗木 601,033本<br>/スギ全体 971,862本)<br>・少花粉苗木等の相互融通 | ・植替えに使用する<br>少花粉スギ苗木の割合 50%<br>(少花粉スギ苗木 580,000本<br>/スギ全体1,161,000本)<br>・少花粉苗木等の相互融通 |
| ③ 特定母樹の少花粉品種に関する調査研究の加速化       | ・調査研究結果の情報共有   | ・調査研究の情報共有  | ・調査研究の情報共有   |
| ④ 少花粉スギ・ヒノキ等に関する普及啓発活動         | ・普及啓発物品の配布等  | ・普及啓発物品の配布  | ・普及啓発物品の配布   |

# スギ・ヒノキ花粉症対策部会

## ■ 植替えの促進(少花粉スギ)

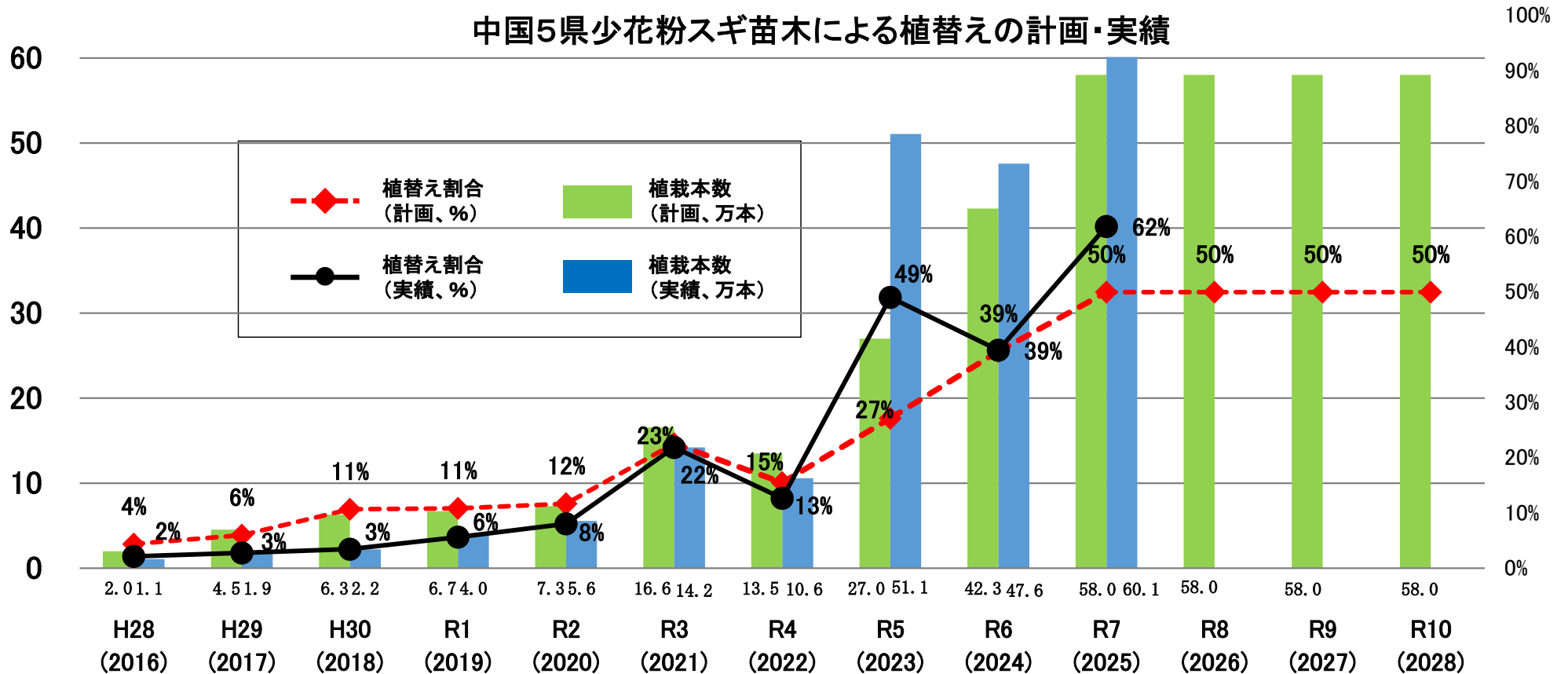
中国5県トータルで植替えに使用する少花粉スギ苗木の割合を令和10(2028)年度まで50%で維持する。

[参考数値] 令和10(2028)年度までの少花粉スギ苗木の植栽計画本数 580,000本  
※ただし、計画本数は今後の苗木の需給動向により随時見直す。

## ■ 中国5県トータルの計画・実績

万本

中国5県少花粉スギ苗木による植替えの計画・実績



※R7(2025)年度実績は見込

# 有害鳥獣対策部会

## 連携テーマ

## ツキノワグマ、野生イノシシ、ニホンジカ、カワウに係る広域連携体制の構築

〔取組の方向〕 ①生息状況の情報共有 ②捕獲、被害対策の取組状況の情報交換 ③広域的な取組方針の検討

### 《ツキノワグマ（出没・被害防止対策）》

中国地区において日常生活圏へのクマの出没が相次ぐ中、各県が相互に連携し、出没・被害防止対策を強化していく。

| クマの<br>出没件数 | 期間          | 鳥取 | 島根  | 岡山 | 広島  | 山口  | 計     |
|-------------|-------------|----|-----|----|-----|-----|-------|
|             | R7年4月～R8年3月 | 95 | 891 | 42 | 592 | 408 | 2,028 |
|             | うちR7年4月     | 3  | 23  | 1  | 21  | 17  | 65    |
|             | R8年4月       | 5  | 94  | 18 | 26  | 26  | 169   |

2.6倍

【最近の住宅地等での出没事例】



- ①島根県益田市(住宅地)(R7.12.4) ※人身事故
- ②山口県柳井市(住宅地)(R8.5.16)
- ③広島県廿日市市(廿日市JCT)(R8.5.18)

### ◇出没・被害防止対策の強化

#### (1) 地域個体群の広域連携体制による保護管理の強化

- 保護管理ユニット毎の協議会が情報を共有しながら、対策を連携して実施

東中国(兵庫県北部・鳥取県・岡山県): 近畿北部・東中国ツキノワグマ広域保護管理協議会

西中国(島根県・広島県・山口県): 西中国山地ツキノワグマ保護管理対策協議会

#### (2) 被害防止に向けた総合対策

##### <体制整備>

- 専門人材の配置: 鳥獣対策職員(鳥取(R8～)・島根)、特定鳥獣専門指導員(岡山)、クマレンジャー(広島・山口)
- 組織体制の強化: クマ対策室の設置(鳥取(R8～)): 鳥獣対策課内にクマ対策を中心に専門的な対応を行う室を設置(3名体制)

##### <出没防止対策>

- パトロール、追い払い、現地指導、普及啓発等の強化
- 放任果樹の伐採、緩衝帯の整備、侵入防止柵(電気柵)の整備などの環境整備の推進
- センサーカメラによる出没ルート推定、堅果類豊凶調査、捕獲個体の解析調査などの実施

##### <出没時対策>

- 緊急銃猟、錯誤捕獲対応捕獲者向けの銃猟技術研修の開催や狩猟免許取得支援など銃猟実施者の育成・確保

#### (3) 情報共有

- 中国5県で市町村別の捕獲・目撃情報及び各県での取組内容の共有(H29～)と、市町村への情報発信を継続中
- 東中国地域(兵庫、鳥取、岡山)並びに西中国山地個体群(島根、広島、山口)の生息推定個体数の算定及び広域連携による個体群管理の実施
- 緊急銃猟や追い払いなどの被害防止対策に向けた研修会への相互参加



緊急銃猟捕獲者研修会(岡山県)

# 有害鳥獣対策部会

## 《野生イノシシ(豚熱対策)》

### 野生イノシシ対策行動指針に基づき、以下の対策を実施

※本検討会で作成(R8.3改訂)

#### ○養豚場の衛生対策強化

侵入防止柵設置等、飼養衛生管理基準の遵守指導を強化

#### ○捕獲強化の推進

通年での捕獲強化を推進

#### ○野生イノシシにおける拡散防止対策

経口ワクチン散布、野生イノシシの感染状況確認(サーベイランス)  
ジビエ処理施設や捕獲現場等の衛生対策指導

#### ○中国5県での情報共有・課題検討

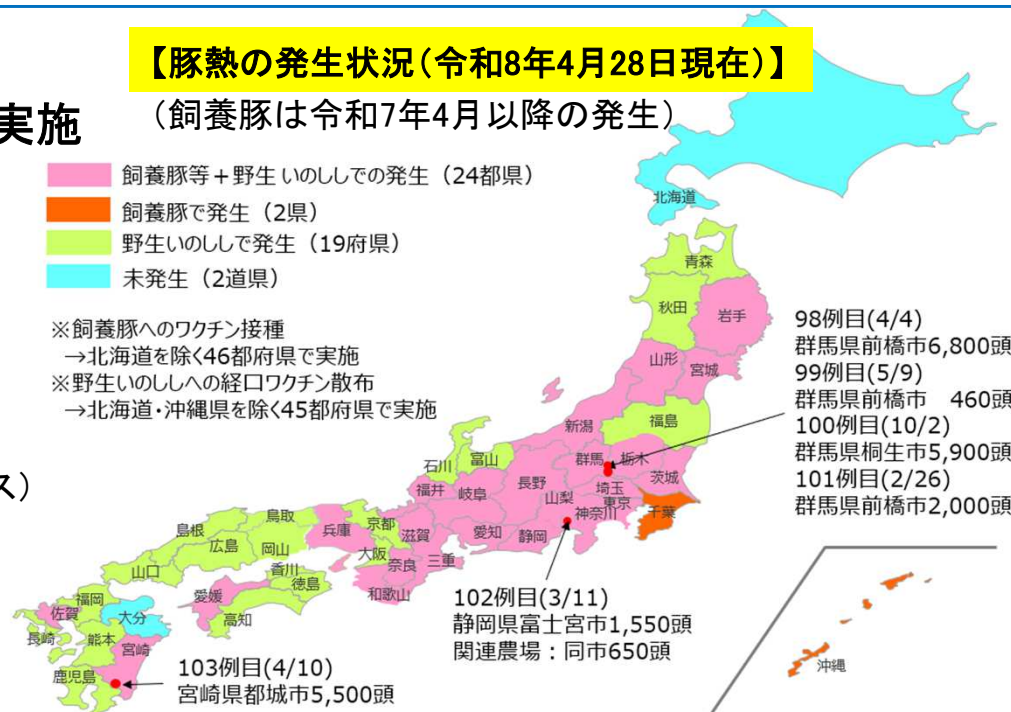
各県の対策の情報共有・課題検討(R8年3月18日開催)  
アフリカ豚熱発生に備えた防疫体制に係る課題検討

### 【豚熱の発生状況(令和8年4月28日現在)】

(飼養豚は令和7年4月以降の発生)

- 飼養豚等+野生いのししでの発生(24都県)
- 飼養豚で発生(2県)
- 野生いのししで発生(19府県)
- 未発生(2道県)

- ※飼養豚へのワクチン接種  
→北海道を除く46都府県で実施
- ※野生いのししへの経口ワクチン散布  
→北海道・沖縄県を除く45都府県で実施



## 《ニホンジカ》

### (1) 広域的な生息状況の共有

- 最新の調査結果を共有し、生息状況を把握
  - ・推定個体数や生息域の拡大傾向がみられるが、高密度地域では生息数が減少又は増加率が鈍化。

### (2) 生息動向を踏まえた地域別対策

- 県境域や分布拡大地域等を踏まえた捕獲強化を継続
  - ・指定管理鳥獣捕獲等事業、広域捕獲活動支援事業、シカ特別対策を実施【中国5県】
  - ・狩猟期前の捕獲強化月間(10月)を継続実施【鳥取・岡山・山口】

### (3) 人材育成・体制構築

- 捕獲技術向上の研修会を継続【中国5県】
- 兵庫県との捕獲技術向上合同研修会を継続【鳥取・岡山】
- 鳥獣被害対策支援を行う中間支援組織「tegos」の活動が10市町に拡大【広島】

## 《カワウ》

### (1) 個体群管理・被害防除の取組

- ドライアイスによる繁殖抑制を実施【中海(環境省・鳥取・島根)、広島】
- 銃器による捕獲を継続【広島、山口】
- ねぐら・コロニーにおける対策(ひも・テープ張り、枝打ち)を実施【岡山、広島】
- ねぐら・コロニー等の営巣場所の利用状況、個体数等の調査を実施【鳥取、島根、岡山、広島、山口】
- アユの遡上、放流、産卵及び盛漁期に一級河川等で追払いやテグス張り等の対策を実施【鳥取、島根、岡山、広島、山口】



ドライアイスによる繁殖抑制  
島根県中海・続島

### (2) 中国5県における情報共有

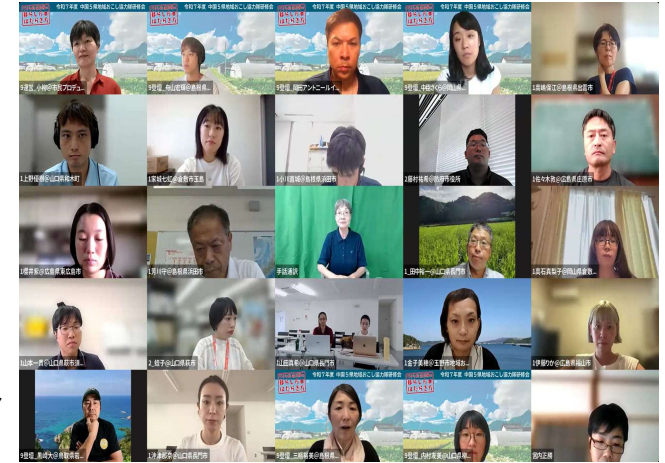
- 中国四国カワウ広域協議会(環境省主催)、中国5県カワウ対策連絡会により、生息域や各県で行う取組等最新情報を共有

# 中山間地域振興部会

## 令和7年度共同事業

### (1) 中国5県地域おこし協力隊研修会（担当県：山口県）

- 1) 概要：中国地方で活動する「地域おこし協力隊」を対象とした5県共同研修会を開催し、スキルの向上、ネットワーク化を図る。
- 2) 期 日：令和7年9月5日（台風接近に伴いオンライン開催）
- 3) 参加者：59人
- 4) 内 容：「協力队的起業・就業のリアル」をテーマに、各県の協力隊経験者を登壇者として、活動紹介やパネルディスカッション、ワークショップを実施



### (2) 政策研究会

- 1) 概要：各県での取組成果や工夫など、担当者同士の情報交換の場を設定することで、相互の業務の参考とする。
- 2) 期 日：令和7年8月27日（担当者会議と併せてオンライン開催）
- 3) 内 容：「特定地域づくり制度の活用促進」及び「中山間地域における持続可能なビジネスモデルの構築」をテーマとして意見交換等を実施。

### (3) 中山間地域対策担当職員スキルアップ研修会（担当県：鳥取県）

- 1) 概要：中国地方の中山間地域対策を担当する県職員、市町村職員、その他関係機関等職員を対象としたスキルアップ研修等を開催し、地域支援に関する知識・ノウハウの習得を図る。
- 2) 期 日：令和8年2月9日（大雪に伴いオンライン開催）
- 3) 参加者：61人（自治体職員、その他団体職員等）
- 4) 内 容：「これからの地域づくり」をテーマに、主に山陰で活躍する地域づくりの実践者からの事例報告及びパネルディスカッション、参加者からの質問を踏まえたトークセッションを実施



# 中山間地域振興部会

## 令和8年度共同事業（予定）

### （1）中国5県地域おこし協力隊研修会

- 1) 概要：中国地方で活動する「地域おこし協力隊」を対象とした5県共同研修会を開催し、スキルの向上、ネットワーク化を図る。
- 2) 時期：令和8年9月頃
- 3) 担当県：岡山県

### （2）政策研究会

- 1) 概要：各県での取組成果や工夫など、担当者同士の情報交換の場を設定することで、相互の業務の参考とする。
- 2) 時期：令和8年8月頃（担当者会議と併せて実施）
- 3) 内容：テーマを設定して意見交換等を実施

### （3）中山間地域対策担当職員スキルアップ研修会

- 1) 概要：中国地方の中山間地域対策を担当する県職員、市町村職員、その他関係機関等職員を対象としたスキルアップ研修等を開催し、地域支援に関する知識・ノウハウの習得を図る。
- 2) 時期：令和8年10月頃
- 3) 担当県：山口県

# サイクリング部会

## ＜＜目指す姿＞＞

中国地方及び四国地方が国内外から何度も走りに行きたくなる魅力的なサイクリングエリアとなっていること。

## ＜＜目指す姿の実現に向けた取組＞＞

- ①広域推奨ルート・推奨エリアの選定 ②サイクリストの受入環境の整備 ③情報発信に係る連携

### 1 広域推奨ルート・コースの選定

各県をまたぐルートの調整等について継続検討するほか、推奨エリア内のコースのPRを進める。



|         |   |
|---------|---|
| せとうちエリア | しまなみ海道、倉敷・玉野シーサイドルート、サザンセトオレンジ海道 等      |
| 日本海エリア  | 鳥取うみなみロード、中海周遊コース、角島ブルーオーシャン海道 等        |
| 中国山地エリア | ツール・ド・大山ルート、蒜山高原自転車道ルート、秋吉台グリーンカルスト街道 等 |

## 2 誘客促進・情報発信に係る連携（R7年度の取組）

### ○中国地方5県のサイクリングを通じた魅力を発信【誘客促進・情報発信】

YouTube等のWebメディアの活用により、気軽にサイクリングを楽しむための中国地方5県の魅力発信を行い、誘客に繋げる。

サイクリングを楽しむライト層へのアプローチを強化するため、各県のサイクリングコース、観光スポット、ご当地グルメやレンタサイクルの情報など、訪問時に気軽にサイクリングを楽しむための情報について、動画クリエイターを起用して発信する。



### ○サイクリングマップの改訂【情報発信】

サイクリングコース及び観光スポットを紹介するサイクリングマップの改訂を行う。

### ○サイクルイベントへの出展【情報発信】

中国地方5県でブース出展し、各県のパンフレットやサイクリングマップの配布等による情報発信を実施する。また、ブース来場者に向けて、アンケート調査を実施する。

- ・イベント名：CYCLE MODE RIDE OSAKA2026  
（開催地：大阪府吹田市「万博記念公園」）
- ・実施日：令和8年3月7日、8日
- ・来場者数：13,106人／2日間



## 取組状況（予定を含む）

### （１）ビジネスマッチング・商談会の共同実施・連携・相互参加

#### ○商談会の共同開催

・中国ブロック合同広域商談会  
（R7.10.28：山口市で開催）

・nano tech 2026

（中国地域公設試と産総研中国センターが共同出展）

R8.1.28-30／於：東京ビッグサイト



#### ○商談会・展示会等の他県の参加促進

・中四国環境ビジネスネット（B-net）フォーラム

R8.1.26／於：岡山コンベンションセンター（岡山市）

主催：岡山県

### （２）研究会・研修会の共同実施・相互参加

○研究会・研修会等について他県を含め案内

### （３）公設試験研究機関の連携強化

#### ○人材交流

・中国・四国地域公設試験研究機関研究者合同研修会

R7.10.16～10.17／於：岡山県工業技術センター（岡山市）

#### ○連携会議

・中国四国地方公設試験研究機関企画担当者会議

R7.11.6-7／於：倉敷市

主催：岡山県工業技術センター（幹事県）

・中国四国地方公設試験研究機関共同研究（精密加工分野）  
推進協議会

R8.2.27／於：福山市（WEB併用）

主催：広島県立総合技術研究所東部工業技術センター  
（幹事県）



## 新たな目標や課題

(1) ビジネスマッチング・商談会の共同実施・連携・相互参加

➡ 中国ブロック合同商談会や展示会出展企業交流会の継続開催

➡ 各県単独実施の商談会・展示会等の他県の参加促進

(2) 研究会・研修会の共同実施・相互参加

➡ 各県単独実施の研究会・研修会等について、他県を含め案内

(3) 公設試験研究機関の連携強化

➡ 公設試験研究機関の人材交流

➡ 公設試験研究機関の連携会議

➡ 中国知事会から発足した公設試験研究機関の連携会議

商談会等の  
共同実施

研修会等の  
相互参加



公設試の  
連携強化

# 広域デジタル部会

**連携テーマ** 広域でのデジタル・ガバメント推進による、住民サービス向上と業務の効率化

| システム(WG)等                   | リーダー県 | 検討結果  |                              |
|-----------------------------|-------|---|------------------------------|
| セキュリティクラウド ※                | 島根県   | 次期調達に向けて検討を継続                                 | 各WGでの議論を踏まえ、R4年度末に検討結果をとりまとめ |
| 統合宛名 ※                      | 広島県   | 次期調達に向けて検討を継続                                 |                              |
| 地方公会計                       | 山口県   | 統一化困難   |                              |
| 校務支援                        | 山口県   | 統一化困難   |                              |
| 震度情報                        | 山口県   | 統一化困難   |                              |
| 道路情報                        | 島根県   | 統一化困難   |                              |
| 砂防情報                        | 広島県   | 統一化困難   |                              |
| 水防関連・土木防災                   | 山口県   | 統一化困難   |                              |
| 公共工事積算                      | 山口県   | 統一化困難   |                              |
| AIによる橋梁インフラ点検・診断に伴う教師データの共有 | 山口県   | 教師データを共有し、R4にシステム構築。R5から山口県で運用開始。(共同利用、仕様提供可) |                              |
| 防災情報システム(WT)<br>※R3追加設置     | 広島県   | R4共通仕様書の作成、R7広島県・鳥取県で共同運用開始⇒広域防災部会へ移管         |                              |

## 今後の取組

セキュリティクラウド、統合宛名システムの次期調達に向け、国の取組や各県の検討状況等を共有・報告

## (参考)個別の取組

### 1. セキュリティクラウド

#### (国の動き)

国・地方の新たなネットワークへの移行を2030年頃の実現できるよう、検証等を可能なものから速やかに実施するとされたことを踏まえ、次の2つの観点から実現性や導入効果を確認し、課題や考慮点を抽出するため実証事業を実施。

- ・ 国・地方の適切な役割分担の下、国が主体的に整備するネットワーク基盤の共用化
- ・ 地方のネットワーク上のシステムへのゼロトラストアーキテクチャの考え方の導入

#### (実施状況等)

- ・ R7は全国で7件(中国地方では山口県)が採択、R8.3に最終報告
- ・ R8について、山口県は引き続き事業実施へ向け調整中
- ・ 新たなネットワークへの移行は、分散・段階的に実施(今後予定)  
⇒この動向を注視し、今後の対応を検討。

### 2. 統合宛名

#### (現状)

システム経費の削減と事務の効率化を図るため、中国5県で共通仕様を確定。今後、以下のスケジュールで次期統合宛名システムの調達及び利用を予定。

#### (今後のスケジュール)

- ・ R8.5頃 次期システムの契約締結・構築開始
  - ※ 各県が個別契約、次期システム構築
- ・ R9.4～ システム利用開始 (山口県は、R8.12から利用開始)